

## 歩崎地域における宿泊施設について

### 古民家江口屋 「最高の朝に出会える宿」

地域資源と連携させながら新たな価値や人の流れの創出、本市のイメージアップとブランド力の向上により地域振興を目指すこととして、歩崎地域の古民家を宿泊施設に改修し2020年7月にオープン。

※「古民家を活用した茨城ブランド力向上事業」【地方創生推進交付金事業】  
茨城県第1号モデル物件として県内古民家を宿泊施設に改修

宿泊実績 2020年度 482人 2021年度 868人  
2022年度 1136人 2023年度 956人  
※コロナ禍においても宿泊客は年々増加



### 水郷園

歩崎地域の飲食店であった空き家を宿泊施設としてリノベーション。2024年7月にオープン予定。インバウンドや首都圏の富裕層をターゲットに食・文化・歴史・滞在といった一連を組み合わせた、「霞ヶ浦ガストロノミーツーリズム」を構築し県南エリアにおけるインバウンド向け観光モデル確立を目指す。

※「茨城県インバウンドコンテンツ造成支援事業」を活用



※食材の写真はイメージ

### 情勢と課題

- ・アフターコロナ以降、国内でのインバウンド獲得の動きは活発化。
- ・高い付加価値を持たせ、さらなるブランド力を高めていくことが必要。
- ・泊まりたい宿がありそこから目的地を決めるという流れも世界的に広まりつつある。
- ・江口屋の宿泊実績は年々伸びているが、ほかに宿泊施設がない。
- ・顧客の満足度を高めるためには、料理の提供をはじめ高品質なサービスと施設を提供しホスピタリティにおいて他地域と差別化を図る必要がある。
- ・人件費や光熱水費の高騰など経費が年々上昇している。

## 条例(市交流センター等の設置及び管理に関する条例)の改正(2024年6月)

### 改正ポイント

- ・インバウンドや首都圏の富裕層をターゲットに高付加価値化や高いブランド力を目指し、顧客の満足度を高めるために料理の提供をはじめ高品質なサービスを提供することとして、宿泊費については価格を見直し。
- ・設定した金額については指定管理者が実情に応じ市長の許可を得た上で変更を可能とする。
- ・収益性を高め「稼ぐ地域づくり」を目指す。

### 改正前

○古民家江口屋  
大人5,000円 小人3,000円(市内)  
大人7,500円 小人4,500円(市外)

※指定管理者が実情に応じ、0.5倍～1.5倍に変更可

### 改正後

○古民家江口屋  
大人7,500円 小人4,500円  
※貸切・時間貸し料金も統一

○水郷園 ※1棟貸切りを基本  
基本料金 30,000円  
1人当たり 10,000円  
※指定管理者が実情に応じ変更可